

2020年3月卒業生を対象とした キャリア支援に関するアンケート (集計結果)

2020年4月

磐田キャンパス キャリア支援課
藤枝キャンパス キャリア支援課

I アンケートの実施概要

1. 実施目的

キャリア支援課、キャリア教育への学生満足度をアンケート調査する。

2. 対象

2020年3月に経営学部、情報学部を卒業する4年生
(358名 内訳:経営学部222名、情報学部136名)

3. 実施方法

- (1) グーグル社のアンケートフォームを活用する
- (2) 1学生、1回のみ回答

4. 実施期間

2020年3月12日(水)～2020年3月31日(火)17時00分

5. 依頼方法

卒業生向け郵便物へ案内を封入するとともに、SSUメールにて回答を依頼した。

Ⅱ 回答状況ならびに集計方法、集計結果

1. 回答状況

経営学部・情報学部、合わせて107名の卒業生(以下、学生と記す)から回答を得た。

対象者358名に対し、回答率は29.8%(経営学部29.2%、情報学部30.8%)となった。

2. 集計方法、集計結果について

学生が記述した内容は原則、原文ママとしたが、明らかな誤字や変換ミスは修正・編集を行い集計に含め、質問の趣旨に合致しないと判断できる回答は集計に含めていない。また、同じ内容と判断できる回答は適宜、集約した。

その他、直前の質問を踏まえ、回答する設問で、前問での回答と整合しない場合は、集計の対象としていない。(質問2が該当)

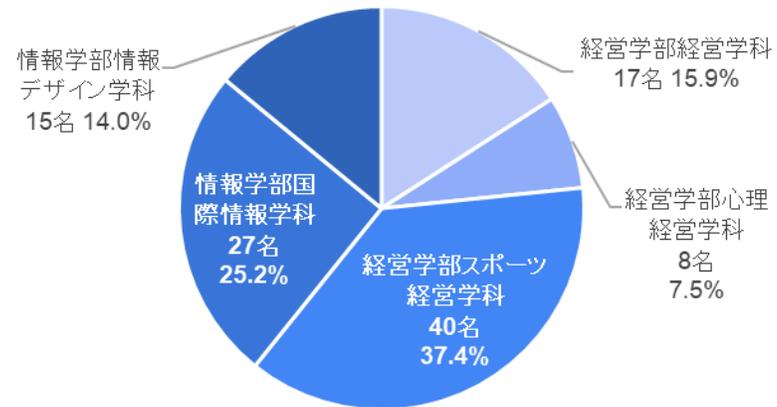
次項以降に導入の質問(はじめに)、質問1、質問2の順に、質問12までの回答を取り纏めた。

なお、回答を必須とした設問は、各質問の末尾に“*必須”と記載してある。

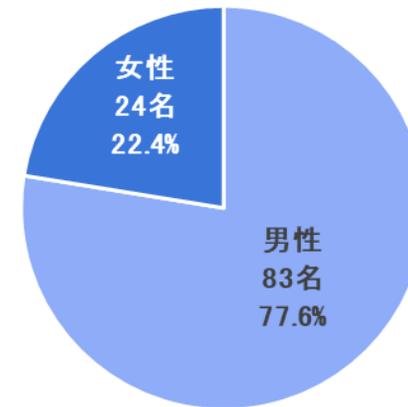
はじめに

回答者の学部学科と性別について * 必須

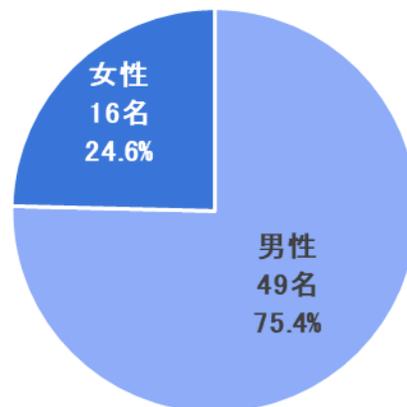
回答者の学部学科



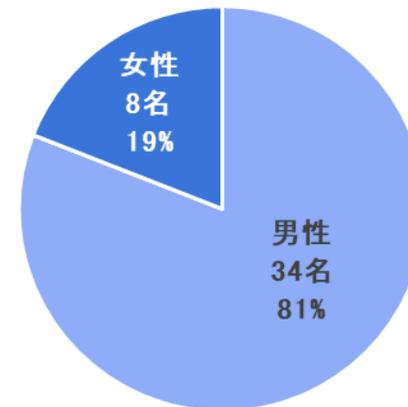
回答者の性別(大学全体)



回答者の性別(経営学部)



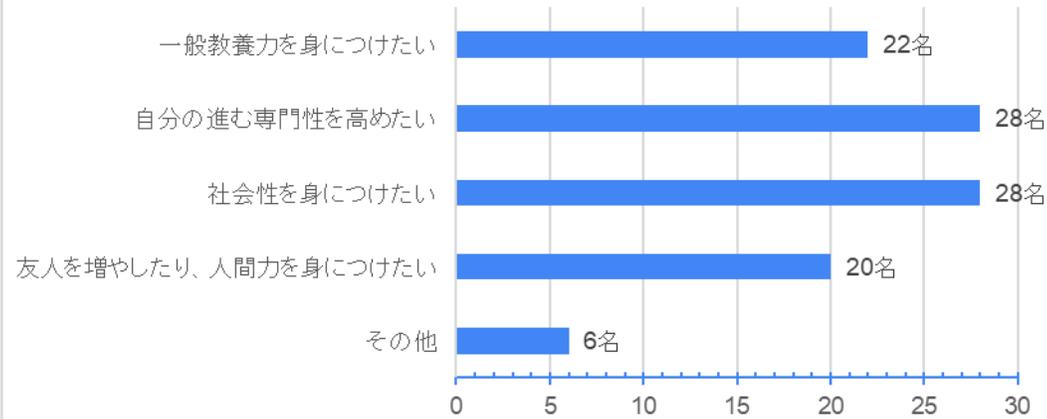
回答者の性別(情報学部)



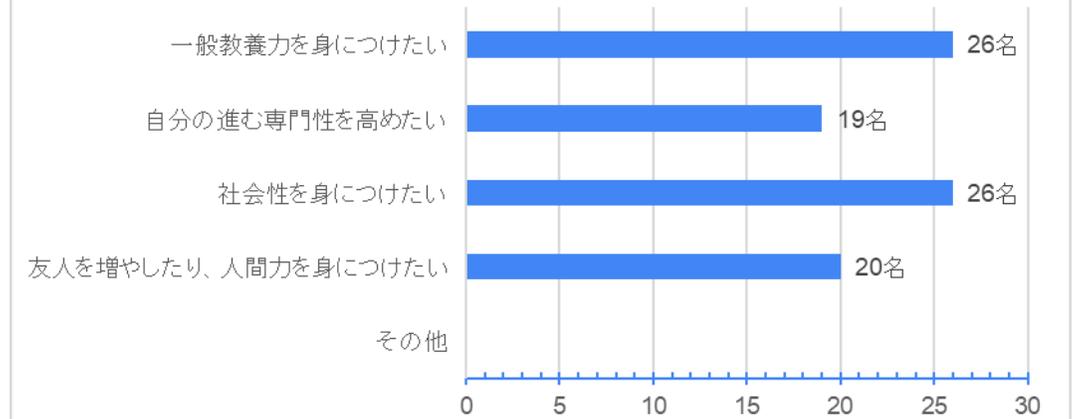
質問1

大学入学当初、入学後にどのような力を身につけたいと思っていましたか。 * 必須

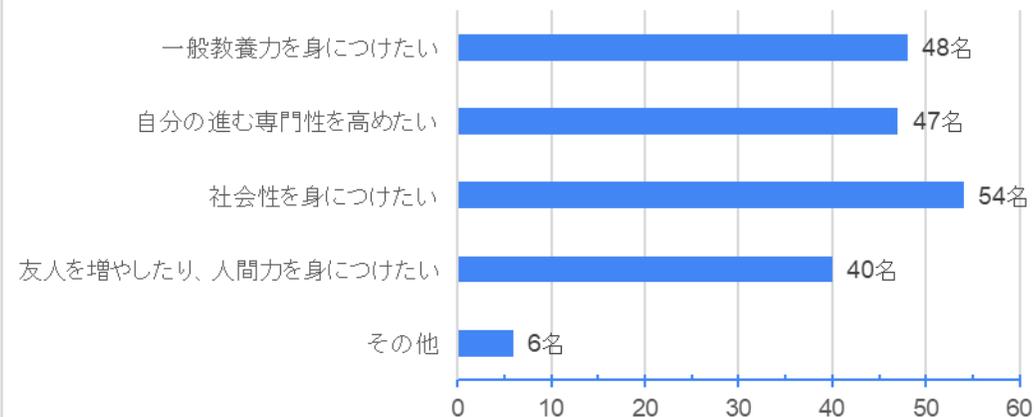
質問1. 身につけたい力(経営)



質問1. 身につけたい力(情報)



質問1. 身につけたい力(大学全体)



● “その他”を選択した学生が記入した内容

就職のため

バレーボールがうまくなるように、それに必要な事を身につけたいと思っていた
部活と資格取りに

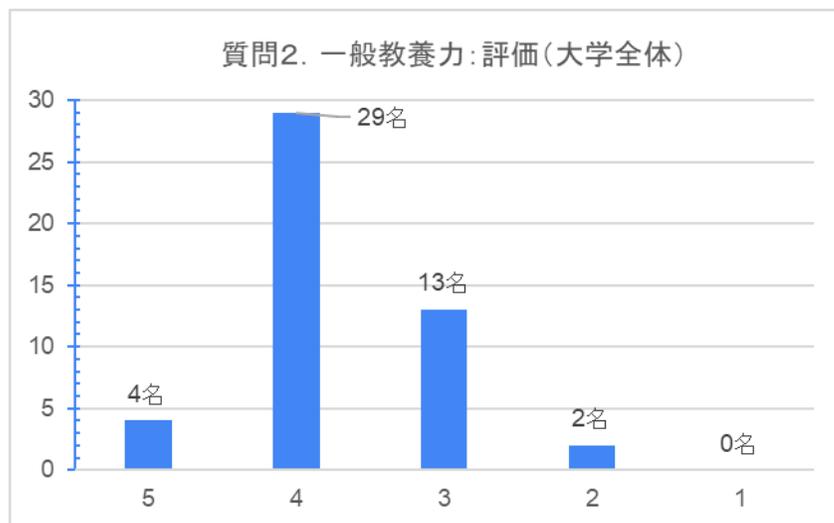
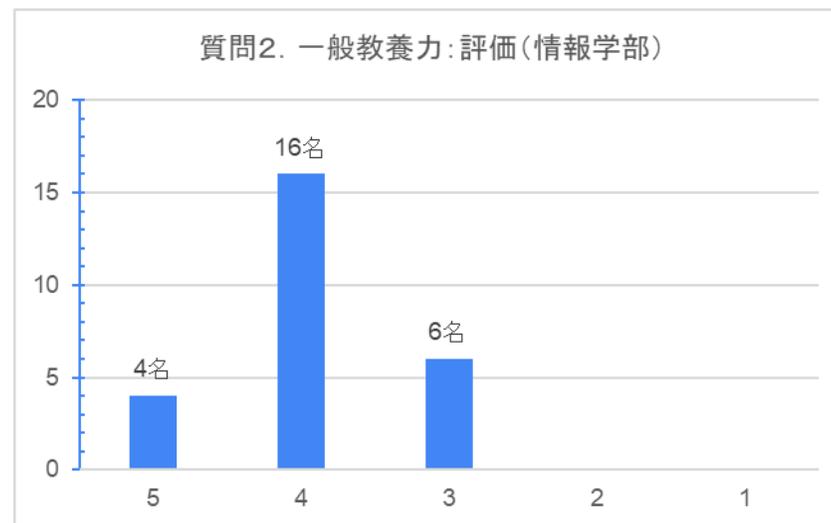
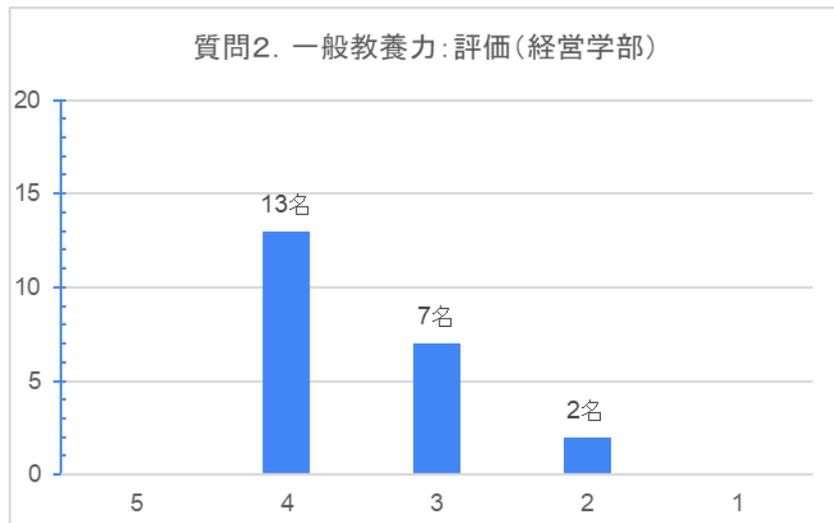
資格

保健体育の教員免許を取りたい

スポーツ

質問2

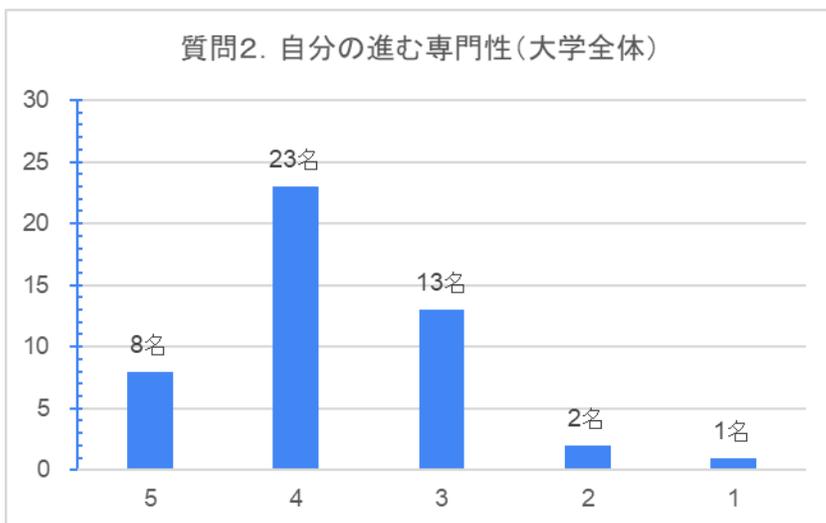
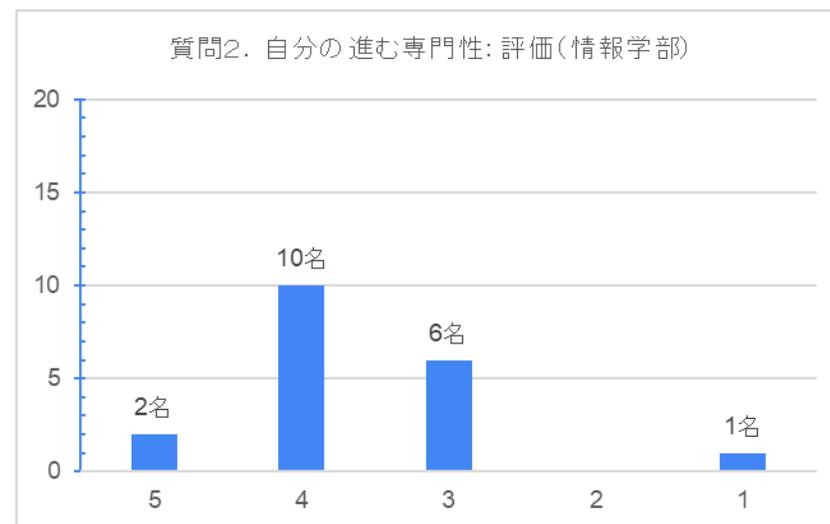
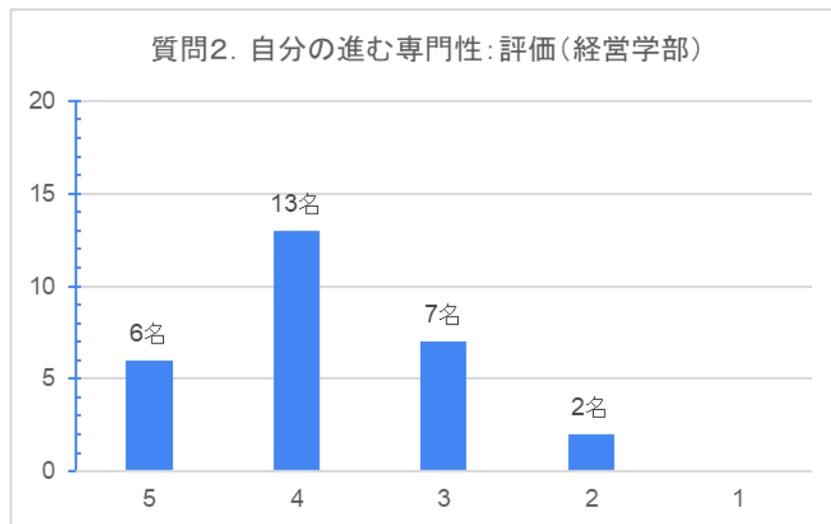
(質問1に続いて)その力は身についたと思いますか。身についた度合いを5段階で評価してください。 ※質問1の“一般教養力を身につけたい”に関する評価



※質問1の回答と整合しない回答は、集計の対象に含めていない。

質問2

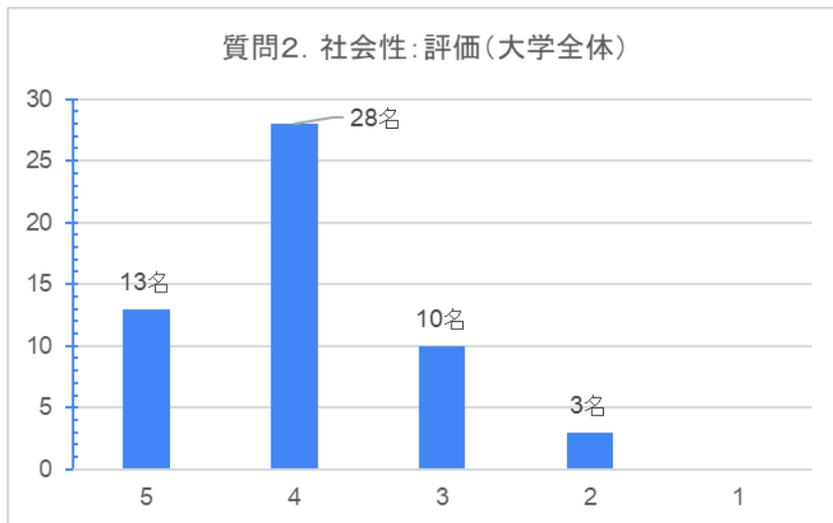
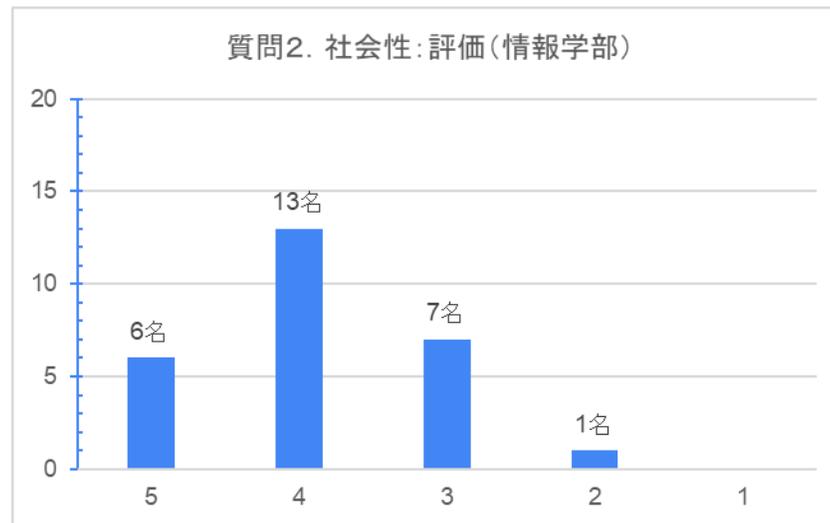
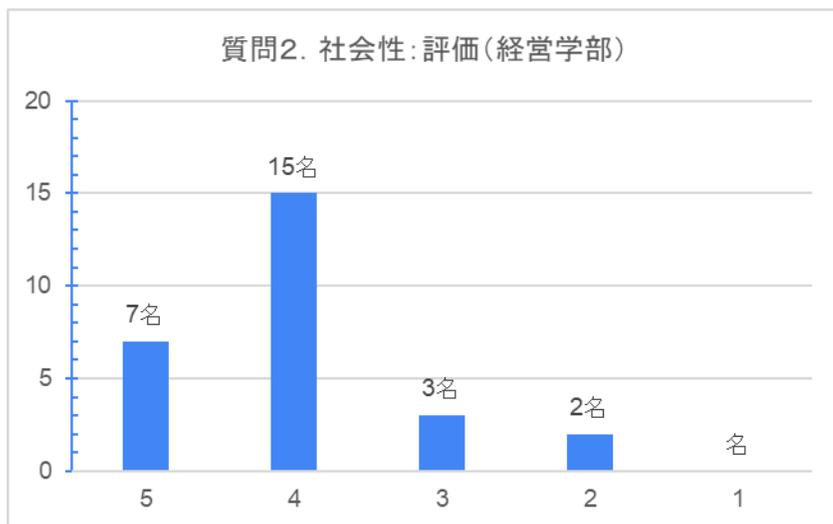
(質問1に続いて)その力は身についたと思いますか。身についた度合いを5段階で評価してください。 ※質問1の“自分の進む専門性を高めたい”に関する評価



※質問1の回答と整合しない回答は、集計の対象に含めていない。

質問2

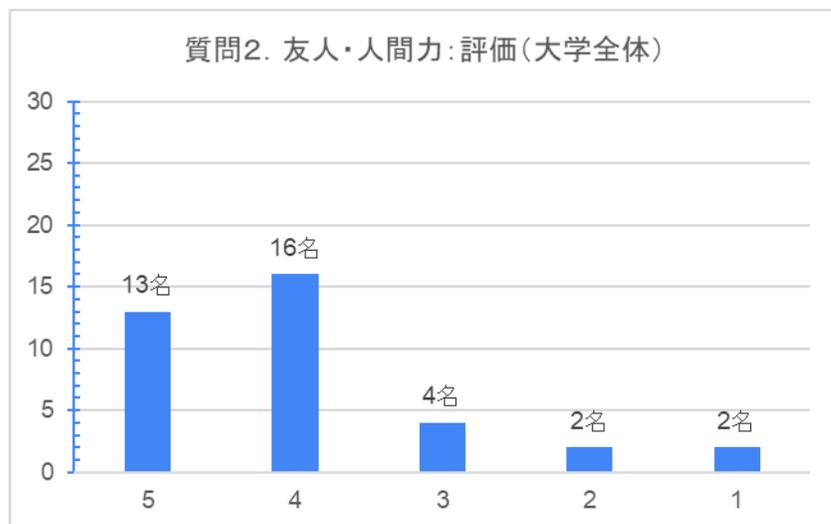
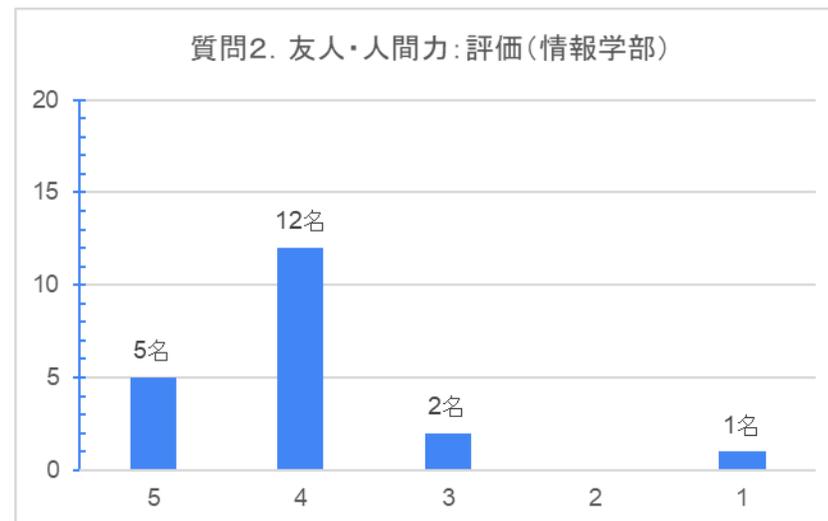
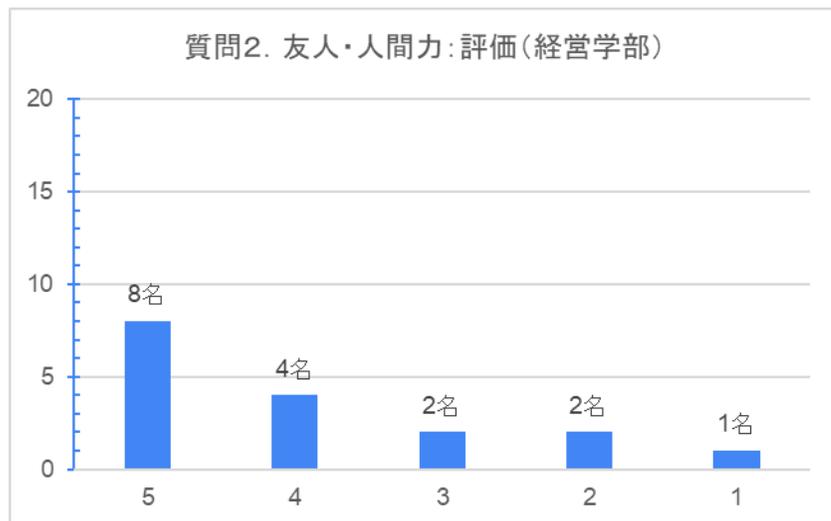
(質問1に続いて)その力は身についたと思いますか。身についた度合いを5段階で評価してください。 ※質問1の“社会性を身につけたい”に関する評価



※質問1の回答と整合しない回答は、集計の対象に含めていない。

質問2

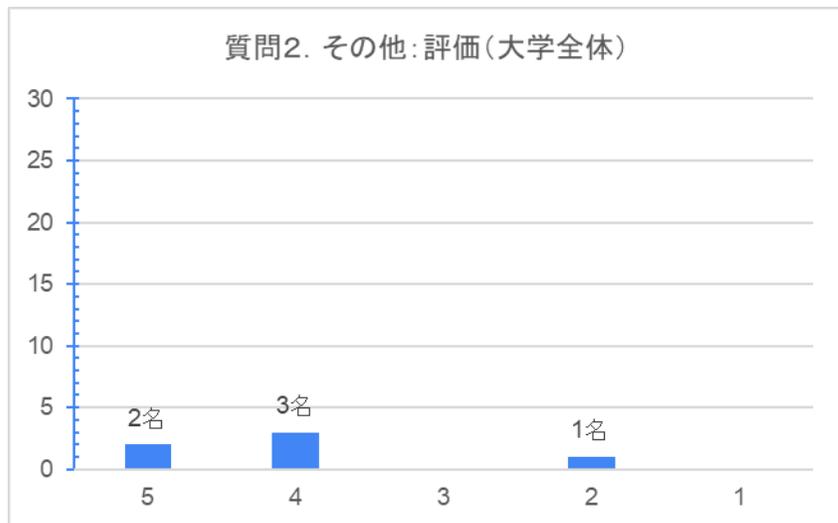
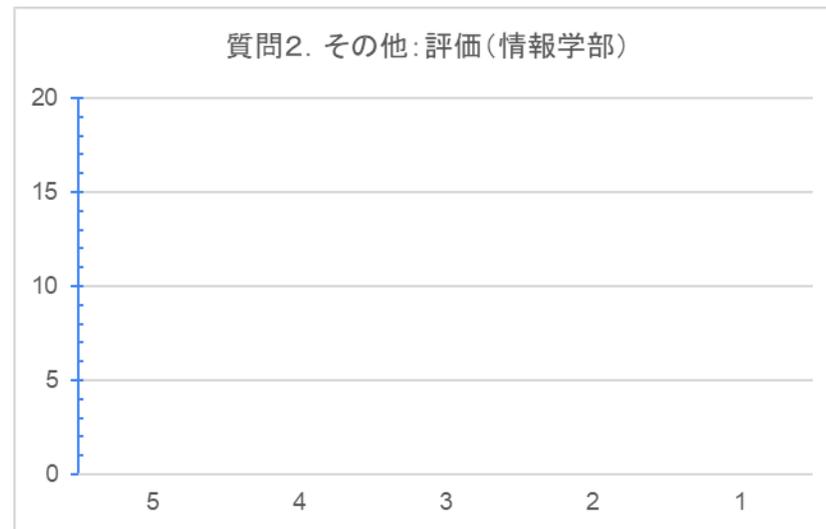
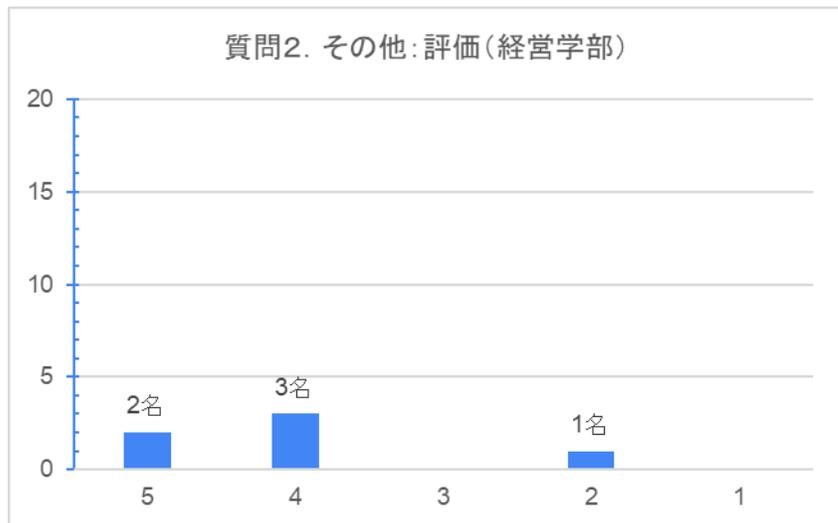
(質問1に続いて)その力は身についたと思いますか。身についた度合いを5段階で評価してください。 ※質問1の“友人を増やしたり、人間力を身につけたい”に関する評価



※質問1の回答と整合しない回答は、集計の対象に含めていない。

質問2

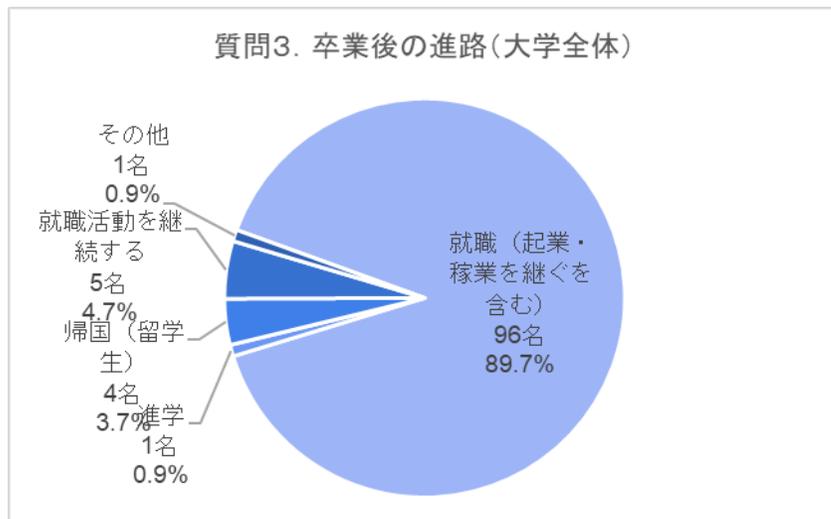
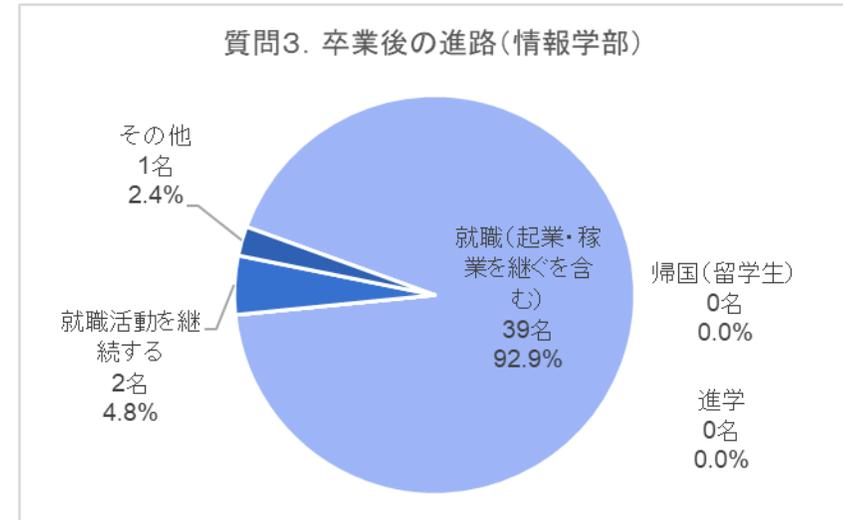
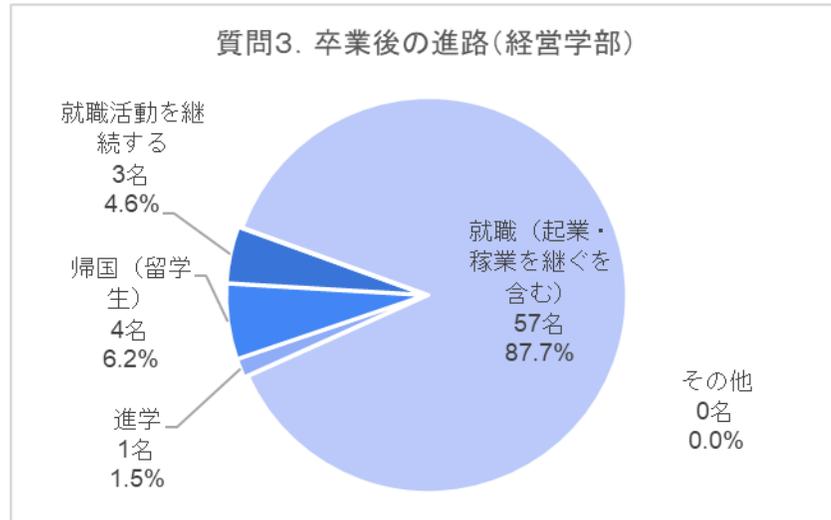
(質問1に続いて)その力は身についたと思いますか。身についた度合いを5段階で評価してください。 ※質問1の“その他”に関する評価



※質問1の回答と整合しない回答は、集計の対象に含めていない。
なお、情報学部では質問1で“その他”を選択した学生はいない。

質問3

卒業後の進路について教えてください。 * 必須

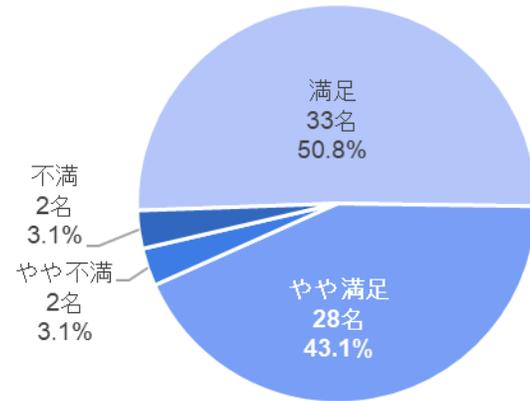


● 両学部とも約9割の学生が、卒業後に就職を予定している。

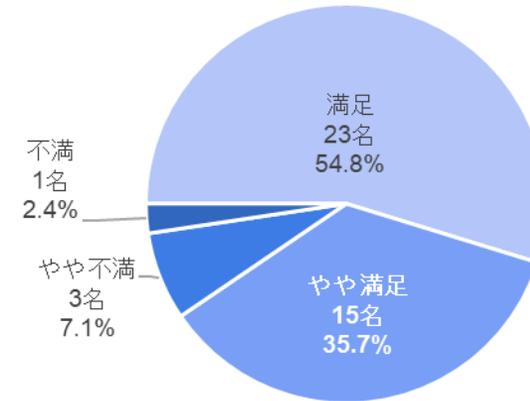
質問4

卒業後の進路に対する満足度を教えてください。 * 必須

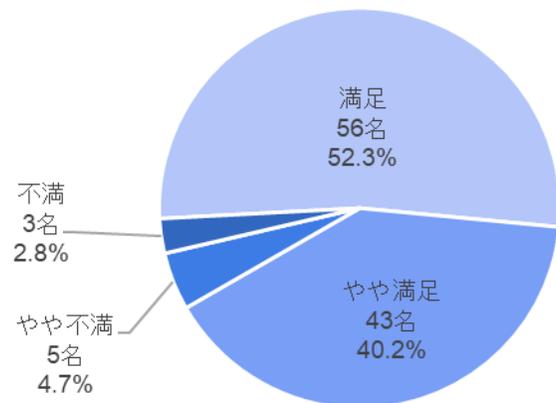
質問4. 進路の満足度(経営学部)



質問4. 進路の満足度(情報学部)



質問4. 進路の満足度(大学全体)



● 両学部とも9割を超える学生が、卒業後の進路に“満足”または“やや満足”と答えている。

質問5

質問4の回答を選択した理由をおしえてください。 * 必須
※大学全体で記載

<質問4で“満足”と回答した学生の記述>

- 自分が希望した仕事(職種)に就けるから:14名
- 第1志望の企業に就職できるから:8名
- 夢(願い)がかなったから:4名
- 良いと思える企業に就職できるから:3名
- 自分人間性を見て内定をいただいた会社だから
- 学んだことが多かった
- 企業の交流会や説明会などで自分が納得して決めることができました。
- 確実に自分に向いている仕事だから
- 就職が決まりこれからの目標ができた
- 興味ある分野の仕事ができそうだから
- 知名度のある大手に就職できたから
- 地元で働けて、公務員なので安定しているから。
- 面接などで自分を過大評価などせず、素直に答え受かったので満足です
- 将来のことを考えやりたいと思えるものに出会えたため
- 自分の就きたい職を見極め、満足いく選択ができたから。
- 周りに流されず、自分が成長できそうな仕事を選べたから。
- 自分で選択したから

- 保育士になれたため
- ITのベンチャー企業で、専門スキルを身につけられる。条件を全て満たした。
- 静岡県内だと、有名なところに就職できたため
- 自分の条件に合っているから
- 自分の好きな事を続けられるし、新たな世界に飛び込むことができるから！
- なるようになっていと思う。自分が選んで決めたところだから満足以外ない。
- 自分が納得しているから。
- 文句なしだから
- 自分のやりたいことへ繋がった為
- 志望に合った企業に内定をもらったので。
- キャリアの方が相談にのってくださったためです
- 希望に近い会社に就職できたため

(事項に続く)

質問5

質問4の回答を選択した理由をおしえてください。 * 必須
※大学全体で記載

(前項からの続き)

<質問4で“やや満足”と回答した学生の記述>

- 自分が就きたかった職業(仕事)に就けるから:6名
- 第1志望ではないが、希望する仕事(職種)に就けるから:2名
- 何とか決められたから
- バイトからの正社員のため、慣れた仕事だから
- 県内での就職が実現したから。
- 興味のある企業に就職できたから。
- 大学院で鳥獣被害の現状とその対策を研究したかったですね
- 興味を持ってる仕事が見つかりました。
- 内定ブルー
- ちょっと遠いが社会的には悪くないため
- 就職先は決まったが、今考えるともう少し上手く就活をしたかったから
- 行きたいところには行けなかったから
- 振り返ってみたらそう思ったから
- 専門的なことを学んでいたがその分野とは違う仕事を選んだため
- 就職したが辞めてしまったから
- 予想していた業種とは、全く違った道を進む事となった為、未知のことが多い事から本当にこれからの皆振る舞い方、経験により選択の良し悪しがわかってくるのだと思います。ただ、これからの世の中を生き抜く上で必要不可欠な仕組みを作り、どんな分野の働き方をする人にとっても必要とされる働きながら、手に職をつける事のできる道に進めた事は、良き選択ができたと思います。

- 就職活動を通じて自身の適性や能力を正しく知る事ができたから
- 将来の生活を考えた結果最善なものだと思っているから
- 部活が充実してたから
- 教員採用試験に現役で合格することができなかった。
- 結果としてはまだ活動を継続するが次に繋がると考えているため
- 待遇は良い
- 何社か落ちてしまったけど、結果的には大手に就職できたから。でも自分の進みたい道ではなかったのでやや満足としました。
- 自分がやっていけるかの不安
- 本当に正しいかはわからない
- 合うところが見つかったから
- もう少し、良い進路先があったのではと思うため
- 引っ越しが大変だった
- 内定を貰えるところがあったから
- 本当に行きたい所が県外だったため
- まだ始まってないから分からない
- 自分で決めたから

(事項に続く)

質問5

質問4の回答を選択した理由をおしえてください。 * 必須
※大学全体で記載

(前項からの続き)

<質問4で“やや不満”と回答した学生の記述>

- まだ仕事を探している
- 勤務地が遠いため、一人暮らしが不安
- 本当に自分がやりたい仕事を見つけられなかったから。
- 新世界だから
- もう少し早くから就職活動を行い、様々な経験を積んでから就職先を決定しても良かったと考えようになったから。

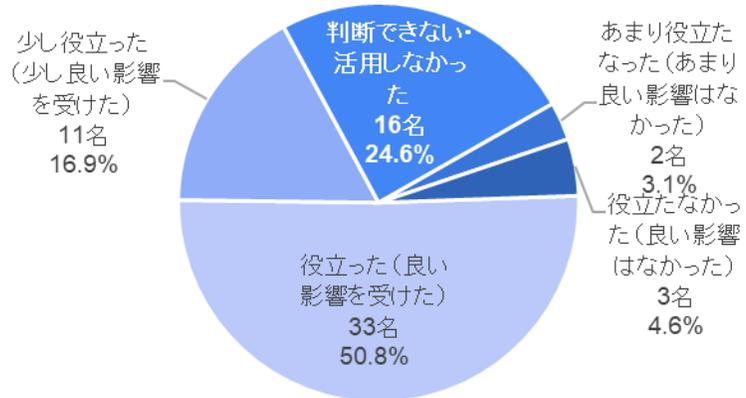
<質問4で満足と“不満”と回答した学生の記述>

- 自分のことを理解してくれる企業に出会えなかった。
- 第一志望にいけなかったから
- 就職活動を行いました、企業から内定が貰えず不安にはなりましたが、先日キャリア支援課からお電話をいただき、この1年間でもう一回就職活動をするのか、パート社員で働いてそこから正社員を目指すのかこの2択で考えています。今でも不安はありますが自分を信じて前に進んで行きたいと思います。

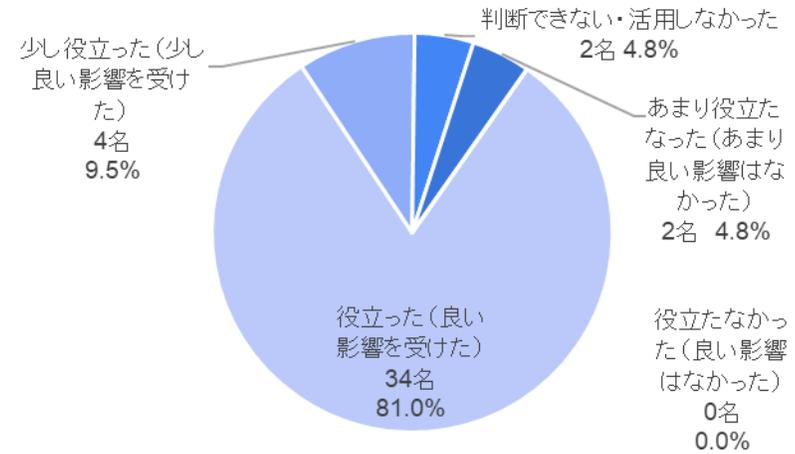
質問6

キャリア支援課の存在は、あなたの就職活動に役立ちましたか。 * 必須

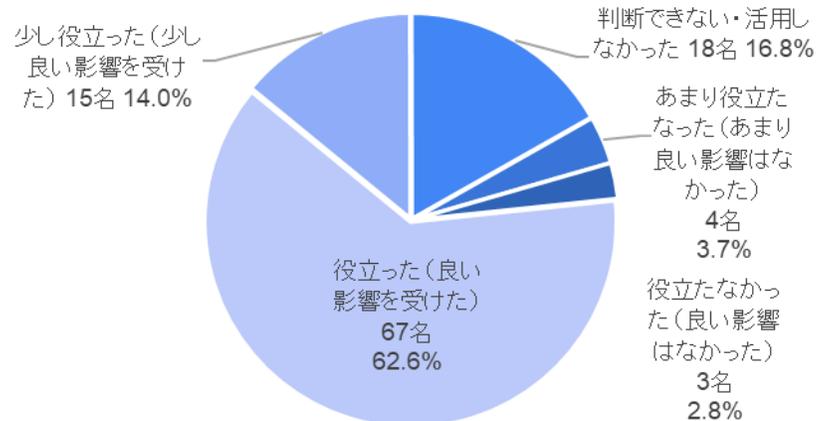
質問6. 進路へのキャリア支援課の影響(経営学部)



質問6. 進路へのキャリア支援課の影響(情報学部)



質問6. 進路へのキャリア支援課の影響(大学全体)



● 経営学部では7割、情報学部では9割、大学全体では7割を超える学生が、キャリア支援課の存在が“役に立った(良い影響を受けた)”、“少し役に立った(少し良い影響を受けた)”と回答した。

質問7

キャリア支援課はどのように、あなたの進路選択・決定に役立ちましたか。 ※大学全体で記載

<質問6で“役立った(良い影響があった)”と回答した学生の記述>

- 企業、説明会情報の提供、合同説明会の開催:9名
- 履歴書やエントリーシートの添削、書類作成の指導:7名
- 面接指導:5名
- 就職活動全般:3名
- 細かい相談に応じてくれたこと、企業からのメッセージなどを伝えてくれたこと、就職に関する全般で本当にお世話になりました。
- 困った事があつたら相談に乗ったりしてくれたためとてもありがたかった。
- アドバイスをたくさんもらって背中を押してくれたことがすごく良かった
- 最高学府へ進むことを推奨していただきました
- 常に手厚く対応してくださった。ありがたいです。
- 就活中によくサポートされました。
- 親身になって話を聞いてくれた
- 相談とかよりもこういうことがあったという報告だけでも気持ちに余裕ができるので話し相手になって下さるだけで心強かったです
- 進む道がどこなのか、ヒントをたくさん頂き、選択する視野を広げさせてもらった。
- 就活関連の相談やバックアップをしてくださり、力になりました
- サポートが良かった
- アシストを全面的にしてもらったから
- 相談に乗ってもらったりして自分の心を決めるきっかけになった。
- 親身に話を聞いてくれ自分でも知らなかった自分を引き出してくれた。
- 選択肢を与えてくれ、就職の基礎を教えてくれた、学生にとってとても心強い存在だと思います。
- 自分の活動状況が、支援課の方々のフィルターを通して順調なのかが判断できた。1次で落とされた動揺を、会話で分析して客観的に考えて貰えて落ち着いた。添削をお願いすると、必ず良くして返してくれるので見せに行きたいと思えた。
- やりたいことがなかったので、就職に困っていたが就職先が見つかった
- 家族や友人、後輩から相談を受ける事は多くあっても、自分の悩みを打ち明ける事のできなかつた私にとっては、とても有難い存在であったと感じました。救われました。先輩から、就職活動は1人になってはいけないと聞いていたけれど、本当にそうだと実感した。もう少し、早く相談できたらと思ったが悩んだ日々は無駄ではなかったと今では思っています。ただ、それもその事実を肯定してくれるキャリア支援課の皆さんの存在があったからだと感じています。本当に、感謝しています。ありがとうございます。
- 心配事をなくしてくれた
- 選考全てで、お世話になりました。ありがとうございました。
- 色んな選択肢が増えた
- 選択肢を与えてくれた。自分が就職活動する上で、必要な知識をくれた。考えることを与えてくれた。感謝しかないです。大学の先生達の中で唯一ニーズに応えてくれる場所です。
- 分からないところを教えていただけた。
- 何度も就職に関する相談に乗っていただき、不安を解消することができた。
- 情報選択の幅を広げるきっかけになった
- 就活においての悩み相談や面接の練習などに協力してくれたこと。
- 就職活動のやり方や悩みを聞いてくれました

(次項に続く)

質問7

キャリア支援課はどのように、あなたの進路選択・決定に役立ちましたか。
※大学全体で記載

(前項からの続き)

＜質問6で“役立つ(良い影響があった)”と回答した学生の記述＞

- 色々なアドバイスをもらえた
- たくさん心配してくれた
- 助言が的確だったこと。
- 筆記試験対策になった

＜質問6で“少し役立つ(少し良い影響があった)”と回答した学生の記述＞

- 話を聞いてもらえた・相談に乗ってもらえた・メンタルの状態や悩みごとについて相談した:6名
- 諦めかけていた就職活動を再開させてくれたこと。
- 志望理由をはっきりとさせることに役立ちました。
- 実家のある新潟県の企業を調べていました。ただ新潟県の情報が少なかったのが残念でありました。
- 面接の指導をもらった
- 求人情報をもらった
- 特に使ってない

＜質問6で“判断出来ない・活用しなかった”と回答した学生の記述＞

- 利用していない:5名
- 分からない:2名
- 特になし

＜質問6で“あまり役立たなかった(あまり良い影響はなかった)”と回答した学生の記述＞

- 特になし

＜質問6で“役立たなかった(良い影響はなかった)”と回答した学生の記述＞

- 何も使っていない・特に利用していない:2名
- 特に役立っていない

質問8

キャリア支援課からのサポートをより充実させるためには、他にどのようなものがあると良いでしょうか。 ※前項からの続き・大学全体で記載

- メール相談など
- 勧めた会社が本当にいい会社なのかどうかを確認すること
- 現在のサポート体制で十分だと思います。
- 女子に対し、企業の事務系職種が如何に味気のない面白みがない職種かをしらしめる事務系職にこだわるから無職で卒業(非正規社員)となってしまう
- 自ら行動できる人が少ないと感じたので無理矢理にでもイベントに参加させたり、インターンシップ行かせたりさせたほうが自分が次どう動こうか見えてくる気がしました。最初の一步のきっかけ作り
- 学生がキャリア支援課に行きやすくするために、キャリア支援課職員との雑談を含めた親睦会を開く
- 範囲をより広くする
- 個人にあったプロファイリングみたいなもの。
- 同じ悩みを持った人が解決した例を掲示板にはる
- 気軽に相談していいんだということを広める
- 支援課の方々との交流が沢山あると、より話がしやすいかと思います。
- 静岡県外の就活についてのサポート。デザイン学科があるのでデザイン重視の活動の仕方など、専門的な分野の視野が広がると嬉しいかも。
- 産業大学で、できる経験は他大学と学生と比べても負けていない。自分の経験に自信を持ってもらえるように、成長の場を外部に持てるように機会の斡旋。
- 決まった仲間内で、固まっているのでは価値観も経験の幅も広がらないと思うので、できれば3つ以上のコミュニティやグループに身を置く事を勧める。など
- 先輩のアドバイス
- キャリア支援に通う人が少ないと感じたので、いつ来てもいいよってアピールをもっと沢山したら来ると思います。
- 様々な事にもっと詳しくなるべきだと思う。
- あるかもしれないけど、就活する本人達にやる気がない限り何を与えてもダメだと思う。
- 充分、支援課の先生達はやってくれています。

(次項に続く)

質問8

キャリア支援課からのサポートをより充実させるためには、他にどのようなものがあると良いでしょうか。 ※前項からの続き・大学全体で記載

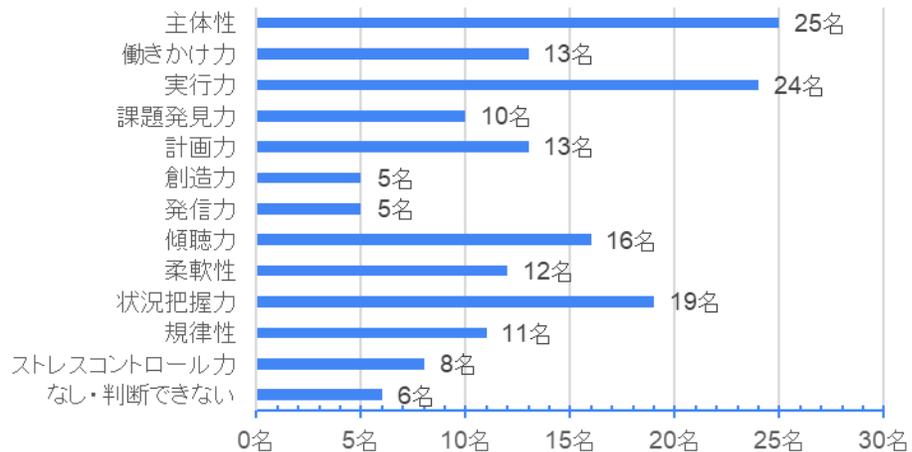
(前項からの続き)

- 静岡産業大の生徒の危機感のなさが問題です！
- メールだけでなく定期的に進路についての講習などを行う
- 静岡産業大学の封筒を売っていることをもっと知らせるべきだと思います。
- SPI、玉手箱の分析(出題傾向など)
- 自分の長所の分析。(自己分析)就活していると自分の自信が失われていくため。長所の分析は、面接での自信にも繋がるかと感じた。
- 求人情報等を見やすくする必要がある
- 同じ学科の生徒が就職活動をした企業を知ることや企業のどこに注目して見ているかを知るができれば良いでしょう。
- メール配信を増やした方が良い
- ものではないが、キャリア支援担当職員さんを増やしてもらいたい。
- 静岡県の企業は情報がありたくさん資料などもありましたが、県外の企業の情報力や資料をもっとあったらいいなと思いました。
- どんな学生でも気軽に相談できる環境になればいいと思う
- 紹介や説明してくれる就職先にどんな(性格や考え方)先輩が行ったのかがわかるとより助かったと感じた。
- 学生の計画を具体的に立てることへの手助け。
- もう少しどのような人でも立ち入りやすいような雰囲気作りが大切なのではないのかと思います。
- 1～4年生までみなが自ずと行かないかと言うような雰囲気が好ましいと感じます。
- 模擬面接練習もあるといいです
- 今のままで充分、今のままで良い(複数)
- 特にありません(複数)
- 上記の他に、“活用していなので分からない”、“現状が分からない”と回答した学生が複数名いた。

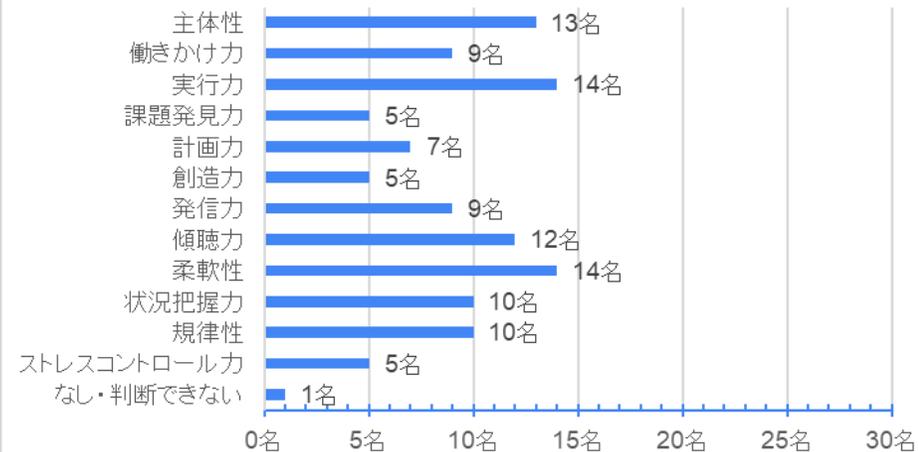
質問9

現在のあなたと大学入学時点のあなたを比較して、大学時代に伸ばすことができたと感じる力をおしえてください。 * 必須

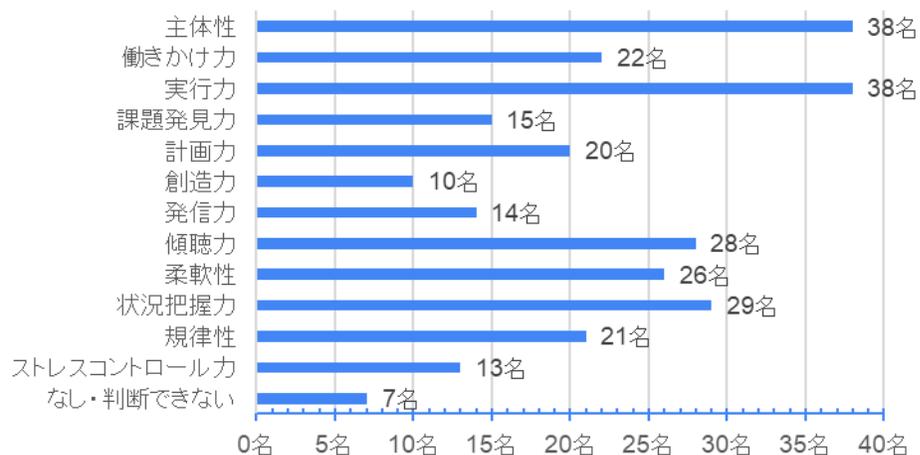
質問9. 大学入学後に伸ばすことができた力(経営)



質問9. 大学時代に伸ばすことができた力(情報)



質問9. 大学時代に伸ばすことができた力(大学全体)



● 経営学部、情報学部とも共通して、“主体性”“実行力”を大学時代に伸ばせたと感じている学生が多くいた一方で、“創造力”、“ストレスコントロール力”を伸ばせたと感じている学生は少なかった。

質問10

質問9で選択した能力は、どのような経験をすることで伸ばすことができましたか。 ※大学全体で記載

- 非協力的な学生を見る一方、「人の振り見て我が振り直せ」をモットーにした。為すべきことを為す日々の積み重ねによって伸ばすことができた。
- コロナの影響で入社後の予定が大分変わりました。会社からの連絡もあり、自分で対応を変えていく経験ができました。
- バイトを始めたことにより周りを見て判断することができた
- ゼミ等でのグループワークや研究発表会などで相手の主張を理解しようとする態度に努めることでそれぞれの立場を把握することができた。
- 親しくなった友人達に 毎期の成績を見せ合い 就活、卒業に向け意見の交換
- Bividの活動、学友会など
- 就活をする際目標を細かく定めてコツコツ行動する事で実行力をのばすことができた。
- 今まで挑戦したことがないこと。例.資格、バイト、インターンシップなど
- 今まで関わってこなかった人達と話す
- 主にアルバイト経験。人間関係ついて、上下関係について、対人とのような関係を築くことで自分の立場を作ることができるのか。
- 何事にも積極的にチャレンジすること
- 一人暮らしからの様々な体験で伸ばしていった
- クライアントからのプロジェクトを成功させること。お客を持つことで、何を求められるかを聞き出し考える。そして専門分野での知識量の差の中、いかに分かりやすく伝えるかを考える。最後にここはこうして欲しいと要望が来て、自分たちが表現したいことと要望を交えた案を考える。考え続けることで、自己満足のものでは無い経験ができる。
- 実際に手を動かして課題を制作したり、人と話し合うことでアイデアを考えることで新たな発見や解決方法を探すことができた。
- 大学生活をしていく上で自然と身についた
- 学内外、親しい友人(アドグル等で固まっているのではなく、学祭実行委員やサークル。外部のワークショップ勉強会等で、他大学の学生や社会人と関わり、他社との協調性を測り、育みながらも、頼るだけではなく自ら提案するなど、進んで自分の大化けの場を持つ行動をしてきました。要約すると、本を読み学ぶように、人がそれぞれ持つ考え方の多様性に触れてきた事です。
- 僅かな友達との人間関係を大事にしていたら身に付いた
- 実践型インターン。営業・テレアポのバイト。イベント主催。

(次項に続く)

質問10

質問9で選択した能力は、どのような経験をすることで伸ばすことができましたか。
※前項からの続き・大学全体で記載

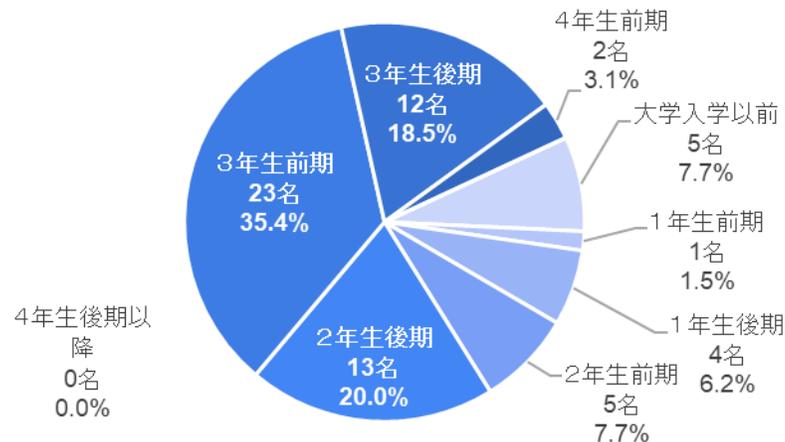
(前項からの続き)

- 部活や授業で行われたディスカッション
- 授業で学んだ事を部活動で実践すること
- 自主的に授業を組むこと
- 専門ゼミナールを通じて伸ばすことが出来た。
- 先輩との関わりや部のキャプテンをやることで伸ばすことができた
- 就活で先輩社員など社会人との約束や会社への提出物の締め切りを学業やアルバイトと両立することで養えた。
- 自分の目標を定め、達成のための行動を起こすこと。
- 授業やサークル活動などで常に自らの常識を壊すことができたため
- やることはしっかりやること
- 自分から動かなくちゃ始まらない
- 周りに気を配る
- ゼミ活動が大きい
- 自分から進んで行動することゼミでの活動、普段の授業を受講すること
- 日々の学生生活のなかで課題への取り組みや友人とのやりとりのなかで、徐々に身についた。
- 困難なときに乗り越えられる
- 就職活動において、自分は新潟県で就職をしたいと入学する時から考えていたのでそこに目標を置いて、自ら企業にお電話をしたり、インターンシップがある日には遅刻をせず行く、説明会ではしっかりと挨拶をしてしっかりと話を聞く、就職活動が自分をさらに成長に繋がりました。
- もとあるネガティブな性格から変わろうと人と出会い、人と関係を作ることを積極的に行ったため主体性が養われた。また自炊やアルバイト、筋トレと様々な面を課題視することで実行力や課題発見力、計画力がより身に付いた。
- たくさんの人と関わる機会。自分で授業を選択し、自ら行動するようになったから。
- 自分で卒業研究をやりました。
- その他に、“大学の授業、ゼミ、部活・サークル、アルバイト、教育・保育実習”と単語で回答した学生、“分からない”と回答した学生が複数名いた

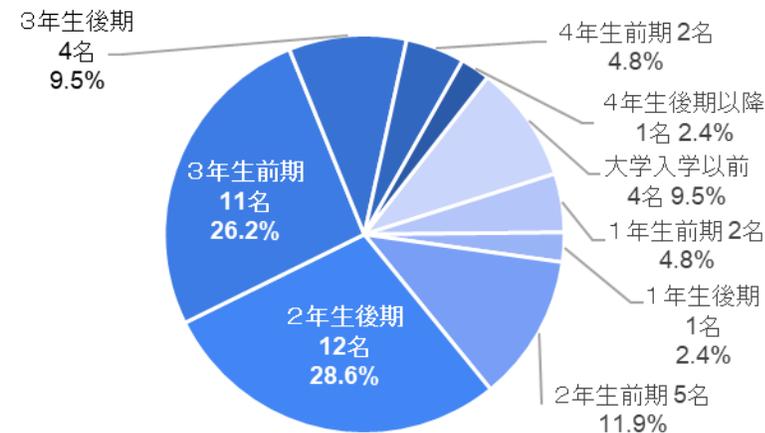
質問11

満足できる、納得のできる進路を「自分で決める」ためには、どのぐらいの時期から自分自身のキャリアを考え始めれば良いと思いますか。 * 必須

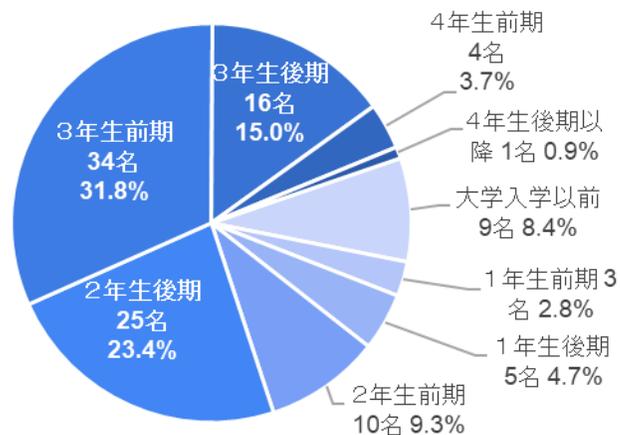
質問11. 進路を考え始める時期(経営学部)



質問11. 進路を考え始める時期(情報学部)



質問11. 進路を考え始める時期(大学全体)



- 満足できる、納得のできる進路を自分で決めるためには、「3年生の前期」までに自分自身のキャリアを考え始める必要を感じると答えた。

また、大学入学以前から考え始める必要を感じると答えた学生も1割弱いた。

質問12

大学のキャリア教育やキャリア支援課のサポート体制について、 提言やご意見がありましたら記入してください。 ※大学全体で記載

- 先生方やキャリア支援の方々は本当に親身になって私の就職支援をしていただきました。ありがとうございました。
- お世話になりました
- 今までありがとうございました。
- 面接練習だったりあまりいらないと思います。調べれば今はすぐにネットでもやり方、注意すべき点などわかるのでそれより自己分析を長い時間かけてやりたいです。面接や履歴書の前に長所短所、面接のときなにを軸にして文を作るのか例えば部活、サークル課外活動など軸と長所短所がわかっただけで動きやすさも自信も変わると思います。
- 4年間お世話になりました。本当にありがとうございました。
- 何事にも親身に答えてくれてとても嬉しかった
- 静岡産業大学のキャリア教育は、他大学に劣らないどころか群を抜いて発展していると思います。優秀な先生方、支援課の方々、皆さんが生徒の事を大切に思ってくれて力を貸してくださっているのを感じました。これからも多くの学生達の夢に添い遂げ、叶えてあげて欲しいと思います。大変お世話になりました。ありがとうございました。
- メールの送り方や書類のやり取りなど、実践する知識の授業が欲しい。
- 大学生にもなって支援課という形で私の将来をサポートしてくれた事にとっても感謝しています。ありがとうございました！
- 今後の就活にあたって途中で活動をやめる学生もいる可能性もあるので最後までしっかり見てあげることが重要だと思います。
- 長崎先生のキャリアデザインの授業が個人的にはとても役に立った。週1回でも進路について考える時間が強制的にあることは良いことだと感じた。キャリア支援課では、就活は元より自分の成長にも繋がるサポートをして頂けた。まだ進路がふわふわしている時期に背中を押してくれるところが助かった。幅広い学生に一律にサポートの機会を提供し、お互いに就活の話が学生同士でもっと沢山できるといいなと感じた。
- スポーツが盛んな大学ということもあり、スポーツ活動だけに専念してしまう学生が多いと思われるので、将来のことも早い段階で考えていくように促してあげたほうが良い。
- 大学の面接練習は参考にならなかった。
- 実現可能性を考慮しながらも、前例や過去の実績にとらわれない、在学生への助言をしてほしい。公共性の高い企業、公的機関との深いつながりや流れをくむ、準公務的な企業の学内個別説明会の日程や企業数を増やしてほしい。(農業協同組合の信用・共済関係の連合会や日本郵政グループなどは、数が少なかつた印象です。)先方のご都合もあるかとは思いますが。東海道シグマさんとの連携は今後も続けていただきたいです。
- 就職活動をする時はキャリア支援課を使っているんな企業を調べていました。自分の思った企業がなかなかみつからなかったことや新潟県の情報が少なかつたのもっと新潟県や県外の情報を増やして欲しいと感じました。
- 別に厳しい指導もいいと思うし厳しくしても良いとは思いますが、先程も述べたように誰もが自ずと行きたいと思わせる環境作りをしなければ活用する人は減ると思います。自分の進路に困る人は沢山いると思いますが、それを誰にも打ち明けられずにくずれていってしまう人はいないとは言いきれないと思います。そのような人達もどのように支援していくのかとても大切と私は思います。人に甘えることが下手な人、小っ恥ずかしい人、空気が違うから入れない人、沢山いると思います。踏み出す勇気を与えることがまず第1の支援になっていくと考えます。情報を提供するだけでなくメンタル面も助けていくことでより良い支援に繋がると思います。これからもご支援頑張ってください。
- 素敵だと思います。